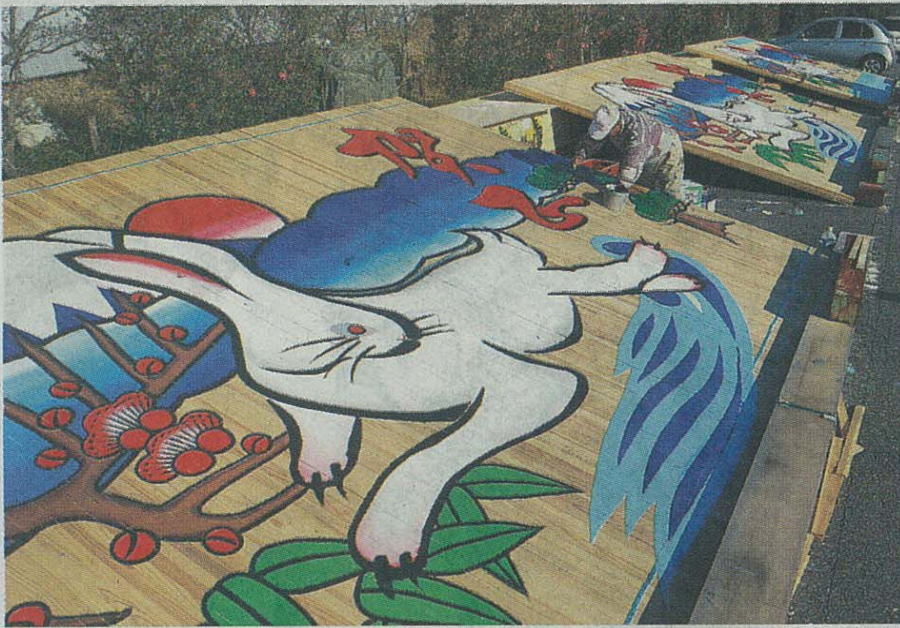


# 明る い年へ「卯」躍動

## 正月の縁起物を製作

角材を並べた縦4枚、横5・5枚の大型「キャンバス」に、来年の干支（えと）の動物などを描く恒例の正月飾り製作が、富士市大淵の住宅資材販売のマルダイで行われている。



### 富士の住宅用角材が「キャンバス」マルダイ

躍動する卯を中心に富士山や松竹梅などを描いた正月飾り「富士市のマルダイ」

12本ずつ束にした「野縁（のぶち）」と呼ばれる4×3枚の角材を計420本分並べ、干支の卯（うさぎ）と縁起物の松竹梅、富士山、駿河湾が描かれている。同社が毎年、県内外から注文を受けて新年の縁起物として製作している。描いているのは看板業の清水信夫さん（72）。考案した構図に沿って妻静枝さん（67）が下書きの線を入れ、清水さんがペンキを塗る。まき絵の心得もあるという清水さんは、はけを使って手際よく塗り分けた。清水さんが描くのは12年目で、今年の卯で干支が一巡した。「中でも力が入ったのは昨年描いた寅（とら）。絵柄が難し

い上に自分の干支でもあったから。来年は2度目の龍に取り組みたい」と清水さん。今年も富士宮市や静岡市、浜松市などの工務店から注文があった16枚を描いた。飾りは正月が過ぎると住宅などの建築部材として使用される。